



インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成

運動会開催 9月17日

園児・児童、生徒のみなさんが、待ちに待った3年ぶりの第39回運動会を開催することが出来ました。運営委員会と保護者の会役員、高校生係、救護の医師ボランティア、安全パトロールやクラスペアレンツの方々など、たくさんの力が結集された運動会でした。

特に運営委員会と元顧問の方々には、前日夕方からの準備と当日早朝の用具運びやテント設置など、会場設営のために二日間お世話になりありがとうございました。

開会式



選手宣誓



校長挨拶



来賓挨拶 日本人会会長 水谷学哉様



ラジオ体操



未就学児 競技



幼稚部 演技



保護者競技

綱引き

ムカデ競争



閉会式 講評 宮川運営委員長

特集 中学部紹介

① 先生方から見て、中学部の生徒はどんな印象ですか。

中学部 1年生の印象：

1学年は、元気いっぱい学習している時の表情がとても良いです。皆和気あいあいとし、とても素晴らしい学年です。

好奇心旺盛で、新たな発見にいつも目がキラキラと輝いています。授業中は一生懸命勉強し、遊ぶときは思い切り遊ぶことのできる、けじめのある学年です。



中学部 2年生の印象：

週1回だけという限られた時間を過ごしてきた中学部2年の印象は、ズバリ「プリズムグループ」です。光を分散、反射、そして屈折したりするプリズムのようにこちらからの情報をそのまま受け入れるのではなく、自分の内のかかなり深いところで消化し発信しているようです。

2学期・3学期を通して、生徒一人一人についてまだまだ新しい発見があるはずです。



中学部3年生の印象：

学習に対し、前向きで積極的。休み時間はあまり外に出ず、絵描き男子・絵描き女子が教室の中で楽しんでます。私語が多い学年でしたが、時間とともに授業に係る発言のみに変わってきました。



② 中学部教育目標

- 自分で考え自分で行動する
- 教えられる授業ではなく、興味を持って学ぶ勉強を目指す
- 高校入試に向け、勉強時間を少しずつ長く集中してできるように、宿題の量も学年ごとに増やしていく

③ 教科の学習内容

【**数学**】⇒1・2年生の基礎の上に積み重ねる形で、高等数学につなげるようにしています。プリントの宿題は一人ひとり提出してもらい教師が採点し、習得状況をチェックしています。

【**国語**】⇒難しい題材もできるだけ楽しく分かりやすく分解し、「なぜ」の疑問を大事に、全員で考えていくようにしています。国語の面白さは、自分では手に取ることのない作品に出合えるところにあります。ぜひ楽しんで作品の世界に飛び込んでほしいです。

【**地理**】(1年生)⇒地形や気候といった自然環境から、産業や文化、歴史や経済までカバーする幅の広い学問です。「暗記型」の地理を脱却し、「理解型」「思考型」「探求型」の地理を目指しています。

【**歴史**】(2年生)⇒歴史は暗記科目ではなく、古代から始まる壮大なドラマです。時代の名前は変わってもそこには必ず現代と繋がる伏線があります。それを見つけながら、歴史を学習する意味を考えてほしいです。

【**公民**】(3年生)⇒難しいけど、実は楽しい法律・政治・経済の話をしてできるだけ身近な話に置き換え理解できるようにしています。

④ 休み時間の過ごし方

現在は温かいので、外に遊びに行く生徒がほとんどです。教室では、自分の好きな本を読んだり、お話をして交流を深めたり、自分なりの過ごし方をしている生徒もいます。

⑤ 自分の中学部について 生徒たちの一言紹介

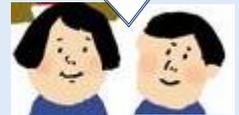
アメリカにいるけど日本のことを勉強できて楽しく友達と話せるのが好きです。



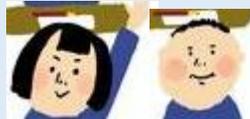
中学部1年は2クラスしかないなので、互いのクラス同士が仲が良く楽しいです。



みんな明るくて、話をしている楽しい学年です。



先生が面白いので、最高の学年です。



先生と友達が面白すぎる人たちなので、今年はたくさん笑って楽しくて最高の学年です。



友達と遊ぶのが楽しいです。



疑問があるとすぐに先生に聞くことができるのがいいです。



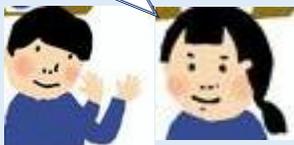
仲の良い、会話あふれる楽しい学年です。



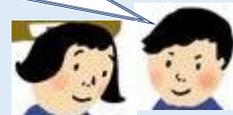
仲が良く笑顔が絶えない学年です。



勉強が理解しやすいので、楽しく学べる学年です。



共通の趣味を持つ友達が多く、一緒に話したり出来るのが楽しいです。



難しい課題がたくさんあっても、みんなで協力して終わらせることができたのがよかったです。



小学部の時より、授業が進むペースが早いように感じます。



中学1年1組 前田一颯

筆者は、『ちょっと立ち止まって』中で、一つのものや風景でも見方によって見えてくるものが違うということ、それが簡単ではないということを読者に教えたかったのだと思います。なぜならば、僕たちは一目見みると、一面のみを捉えてそのもの全てを知ったように思いこんでしまうからです。そのものの他の面を知るためには、今見えているものの一面を意識して捨てなければなりません。けれど、そのものの他の面に気づいたら、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができます。

もしも一つのもののいくつかの面に気づくことができたなら、他の人と意思疎通がしやすくなると思います。たとえば、今一緒にいる人が見えているものの違う面を捉えていたら、その人と話が合わなくなるでしょう。しかし、自分が今見えているもののもう一つの面を気づけていたら、話が合います。また、同じ面を見ていても他の面に気づいたら、お互いに教えてあげることができます。このように、一つのもののいくつかの面に気づけば、会話が広がり、いろいろな人と仲良くなれるのです。

一つのものや風景にも、見方によっていろいろな面を持っています。しかし、そのいくつかの面をとらえるには、今見えている面を意識して捨てなければなりません。ですが、見方を変えれば今見えなかったものが見えてきます。そして、そのいくつかの面を捉えることができたなら、たくさんの人々と会話が広がることでしょう。

中学1年2組 ワグナー太智

筆者の考えは次の通りです。「物を見るときには、ちょっと立ち止まって、他の見方を試してはどうだろうか。そのものの他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができるだろう。」

これは、違う見方をして違うものであると気づき、その驚きを味わいなさい、という意味だと思います。

筆者の考えを基に、ぼくが考えたことがあります。誰かが一日中ずっと働き疲れているとします。家に帰るとベットの上におお寝します。この人が起きたとき、体の疲れが消えます。ですが、それだけではなく、頭の疲れも消えています。寝ることは体と頭を休ませ、この人が起きた時に働けるようにします。体だけが休んでも、脳が回復できていなければ、人は効率的に働くことができません。

この文章を読んで、ほかにも気づいたことがあります。私たちは何かをするとき、一つ以上のことを一機に行っているということです。例えば、水を水筒などの容器に入れているとき、水を入れているということだけではなく、入っている水の量を増やしていたり、水筒の重さを増したりなどをしているのです。

このようにちょっと見方を変えれば、さまざまな新しいことが思いつき、驚きや喜びを味わうことができます。

授業・中間テスト





中学部 1 年生 28 名

中学部 2 年生 16 名

中学部 3 年生 22 名

【お知らせ】

早退について

早退につきましては、13:10 までにという時刻のお願いをしておりましたが、今後時刻はなくなります。
今までご協力をありがとうございました。

本日の配布物 運動会プログラム(子ども用)